

ネットワーク整備の推進(ミッシングリンクの解消)

阪神高速グループでは、お客さまの利便性向上、関西経済の活性化などに寄与するミッシングリンクの解消に向け、現在、淀川左岸線(2期)、淀川左岸線延伸部、大阪湾岸道路西伸部および名神湾岸連絡線の整備を進めています。

ミッシングリンクとは

ミッシングリンクとは途中で切れている未整備区間のことを指し、高速道路は関西経済を支えるインフラとして、物流や観光などの関西経済の発展に大きな影響を与えるため、早期の解消が求められています。



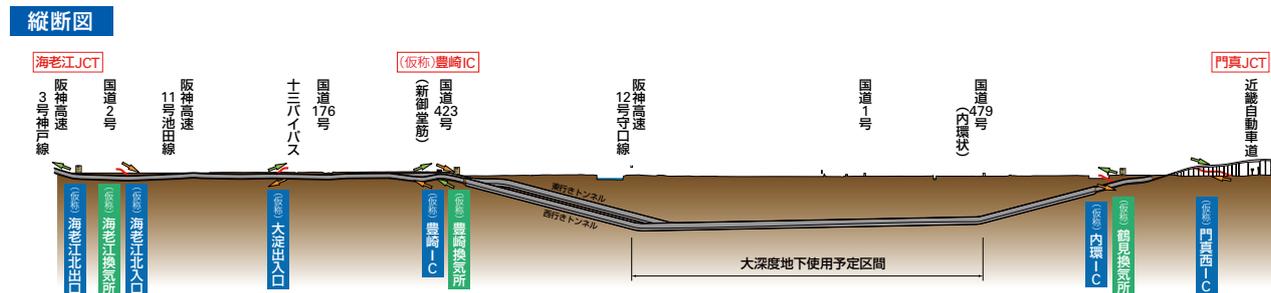
ミッシングリンク解消による、暮らしと環境へのメリット

高速道路ネットワーク整備が進みミッシングリンクが解消されることで、複数の経路選択が可能となり、都心部の渋滞緩和や移動時間の短縮など交通の円滑化が図られ、より快適な走行が可能となります。また、環境負荷の軽減、災害に強いまちづくりなど、お客さまの暮らしにさまざまなメリットをもたらします。

- 都心部などへ集中する交通負荷の軽減、移動時間の短縮
- 自動車交通の円滑化によるCO₂排出量の削減
- 事故や災害時の代替路を確保し、交通規制によるお客さまの負担を軽減
- 新たな物流・観光ルートの整備で地域の活性化

「大阪都市再生環状道路」の完成を目指して

淀川左岸線(2期)および延伸部は、「大阪都市再生環状道路」の北側の一部を構成する道路として、国や大阪市、西日本高速道路(株)との共同事業で進めています。住宅やライフラインの集中する都市部での事業であること、道路ボックスと堤防を一体構造とした区間が含まれること、大深度地下シールドトンネルとなる区間が含まれることなど、高い技術力を要する事業に挑んでいます。



淀川左岸線(2期)

- ◆ 営業中の海老江JCTから、(仮称)豊崎IC(国道423号(新御堂筋))までの4.4kmを結ぶ路線です。
- ◆ 本路線の大部分は開削トンネル構造で、河川堤防との一体構造となる計画となっています。共同事業者である大阪市と事業を進めています。
- ◆ 現在、阪神高速道路(株)においては、大阪市より受託した開削トンネルおよび換気所の構築、JCT部の橋梁の架設などを実施しています。また、2025年4月13日から10月13日までの間は、大阪・関西万博会場へのシャトルバスのアクセスルートとしての活用を行っています。



舗装工(海老江地区)

淀川左岸線延伸部

- ◆ 近畿自動車道の門真JCTから、淀川左岸線(2期)の(仮称)豊崎ICまでの8.7kmを結ぶ路線です。
- ◆ 本路線の大部分は開削トンネル工法およびシールドトンネル工法によるトンネル構造です。淀川左岸線(2期)と同様に、一部区間で河川堤防と一体構造となる計画です。共同事業者である国、西日本高速道路(株)と事業を進めています。
- ◆ 現在、阪神高速道路(株)においては、豊崎側の開削トンネルおよびシールドトンネルにかかる設計検討を実施しています。また、本体工事に支障となる地中障害物撤去工事などを実施しています。

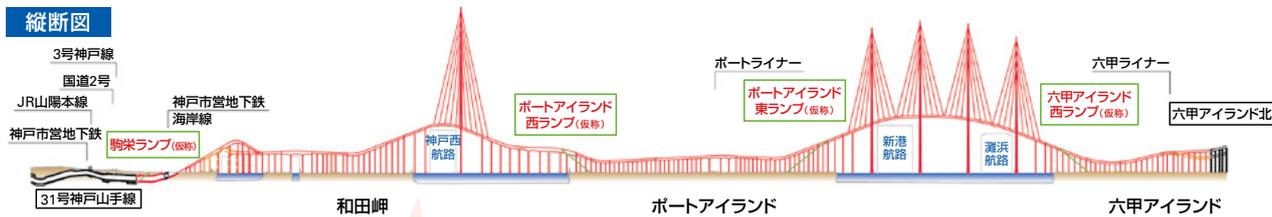


豊崎受電所躯体工事(豊崎地区)

東西交通を分散化する道路ネットワークの整備

大阪湾岸道路西伸部は、阪神臨海地域の交通負荷を軽減し、交通渋滞や沿道環境などの交通課題の緩和を図るとともに、阪神港の機能強化による物流の効率化、災害や事故などの緊急時の代替機能確保などを目的に事業を進めています。

大阪湾岸道路西伸部では、神戸港に2つの海上部長大橋を建設予定であり、これらは神戸の街並みに調和し、新たなランドマークとなることが期待されています。



大阪湾岸道路西伸部

- ◆ 大阪湾岸道路（垂水JCT～りんくうJCT）の一部を構成し、営業中の5号湾岸線の六甲アイランド端末部から、ポートアイランド、和田岬を経由し、長田区駒栄地区で営業中の31号神戸山手線へ接続する14.5kmの路線です。
- ◆ 本路線は、神戸港の主要航路である新港・灘浜航路および神戸西航路を跨ぐ2つの海上部区間に長大橋を架設する計画となっており、共同事業者である国と事業を行っています。
- ◆ 六甲アイランド地区では橋梁工事を、駒栄地区ではトンネル工事を実施しています。また、新港・灘浜航路部（六甲アイランド～ポートアイランド）を跨ぐ海上部長大橋においては、詳細設計を進めています。



開削トンネル工事（駒栄地区）

PICK UP

建設事業の推進

阪神高速ホームページでは、阪神高速道路(株)の建設事業をわかりやすくお伝えしています。

詳しくはコチラ



臨海部と内陸部を結び、ネットワーク機能を強化

名神湾岸連絡線は3号神戸線・5号湾岸線と一体となって機能し、大阪湾ベイエリアの高速道路ネットワークを形成する路線です。2024年度から阪神高速道路(株)も事業に参画し、建設・管理に係る技術・ノウハウなどを活用して、整備を推進しています。



名神湾岸連絡線

- ◆ 3号神戸線・名神高速道路と5号湾岸線を接続する2.7kmの路線です。
- ◆ 本路線の大部分は高架構造であり、西宮港の渡航部においては航路を跨ぐ計画となっています。共同事業者である国や西日本高速道路(株)と事業を進めています。
- ◆ 現在、阪神高速道路(株)では渡航部における構造検討や3号神戸線や5号湾岸線への交通影響検討などを実施しています。また、国で行っている予備設計に参加し、既供用路線との接続方法などについて共同で検討を行っています。

VOICE 大阪湾岸道路西伸部の着実な事業推進に向けて

大阪湾岸道路西伸部事業は都市の発展と交通の円滑化に大きく寄与する重要なプロジェクトであり、大阪・神戸の経済発展に不可欠です。路線全体を通して安全性、将来の維持管理性、景観、経済性に配慮して設計・施工を進めています。海上部には世界最大級となる斜張橋の建設も予定されており、地域のランドマークとして愛され、生活を豊かにする路線となるよう、情熱と創意工夫を持って設計に臨んでいます。

一日も早く安全・安心で快適な高速道路を提供できるよう、関係機関との連携を密にしながら事業推進に全力で取り組んでまいります。



阪神高速道路株式会社
建設事業本部神戸建設部
湾岸西伸第一建設事業所
主任

伊佐 政晃